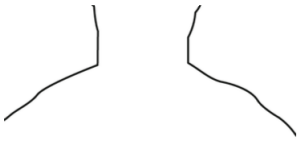
Health Link
Healthy living after treatment of childhood, adolescent, and young adult cancer

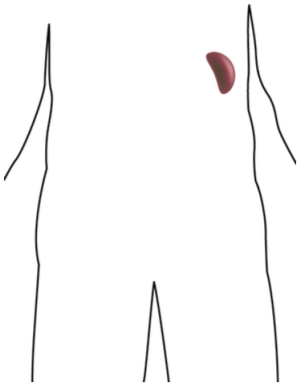
CHILDREN'S ONCOLOGY GROUP

脾臓が機能していない方のための注意事項



脾臓は握りこぶしほどの大きさの臓器で、腹部左上、肋骨の下にあります。脾臓は血液をろ過し、感染症から体を守る働きをします。脾臓が機能していない方は、特定の細菌（肺炎球菌［*Streptococcus pneumoniae*］、インフルエンザ菌［*Haemophilus influenzae*］、髄膜炎菌［*Neisseria meningitidis*］）や、昆虫・ダニが媒介する一部の寄生虫（マラリア原虫、バベシア［Babesia］）による重篤な感染症を発症するリスクが高くなります。

脾臓が機能していない状態のため感染症のリスクがあるのはどのような人ですか？



- 脾臓を外科的に摘出した方（脾摘）
- 腹部に高線量（40 Gy／4000 cGy 以上）の放射線治療を受けた方
- 骨髄移植または造血幹細胞移植後に活動性の慢性移植片対宿主病（慢性 GVHD）がある方

感染症の徴候は何ですか？ いつ受診すべきですか？

- 発熱は感染症の重要な徴候です。38.3℃（101°F）以上を発熱とします。
  - 発熱があり、脾臓が機能していない（または脾摘を受けた）場合は、至急医療機関を受診してください。発熱は重篤な細菌感染症の徴候である可能性があり、細菌感染の有無を確認するための血液検査と抗菌薬投与が必要です。
- 感染症のその他の症状には、普段と異なる強い疲労感、筋肉痛、悪寒、頭痛、嘔吐、下痢、腹痛などがあります。発熱がなくても感染症の警告徴候となることがあります。感染症を疑う症状が出たときや具合が悪そうなときは、定期的に体温を測ってください。
- 症状が感染症によるものか分からない場合は、今後の対応について医療従事者に相談してください。

感染症のリスクを下げるためにできることはありますか？

- インフルエンザ菌 b 型（Hib）、肺炎球菌（PCV、PPSV）、髄膜炎菌（MenACWY、MenB）、インフルエンザに対するワクチン接種により、重篤な感染症のリスクを減らすことができます。
- 感染症予防のため、医療従事者から抗菌薬を勧められる場合があります。このような薬を「予防的」抗菌薬といい、毎日服用します。予防的抗菌薬は、年少児や感染リスクが高い方の感染症リスクを低下させます。

脾臓が機能していない場合、どのワクチンを受けるべきですか？

- すべての小児・思春期の方に推奨される予防接種に加えて、以下の接種を受けてください。
  - 肺炎球菌感染症のリスクが高いため、2 歳を超える方は、定期接種の肺炎球菌ワクチン最終接種から少なくとも 8 週間後に PPSV23 を接種し、初回の PPSV23 接種から 5 年後に再接種します。（訳者注：本推奨は COG が 2023 年 10 月に発出したものです。2026 年 9 月現在、日本の定期接種で使用される肺炎球菌ワクチンである 20 価結合型肺炎球菌ワクチン（PCV20）を接種している方は、PPSV23 の追加接種は不要です。）
  - 機能する脾臓がない方には、生後 2 か月から髄膜炎菌ワクチンが推奨されます。接種回数と時期は、ワクチンの種類および接種開始時の年齢によって異なります。10 歳を超える方には髄膜炎菌血清群 B ワクチンも推奨されます。（訳者注：2026 年 9 月現在、日本で承認されている 4 価髄膜炎菌ワクチンの接種は 2 歳以上で接種が可能となります。）
- ワクチンはかかりつけ医で接種できます。
- かかりつけ医が、あなた固有のキャッチアップ接種や追加接種のスケジュールに詳しくないことがあります。かかりつけ医が質問できるよう、がん治療チームの連絡先をかかりつけ医に伝えてください。

Copyright 2023 © Children's Oncology Group. All rights reserved worldwide.

その他の注意事項

脾臓が機能していない方は、次の感染症のリスクも高くなります。

- **マラリア：**マラリアが流行している国へ渡航する場合は、感染を避けるため特別な対策を取ってください。流行地域へ渡航する前に、抗マラリア薬について医療従事者に相談してください。旅行中は虫よけ剤を使用し、蚊帳や肌を覆う衣服などの防護策を講じてください。
- **動物・人による咬傷：**脾臓が機能していない方では、動物や人による咬傷が重篤な細菌感染症につながることがあります。皮膚が破れる咬傷を受けた場合は、抗菌薬治療のため直ちに医療機関を受診してください。
- **マダニ：**脾臓が機能していない方は、シカダニが媒介する寄生虫バベシアによる感染症のリスクが高くなります。シカダニは米国北東部に最も多くみられます。マダニの生息地域で屋外活動をするときは、肌を覆う衣服を着用し、虫よけ剤を使用してください。バベシア流行地域でマダニに刺された場合は、マダニを取り除き、対応について医療従事者に相談してください。

医療従事者に脾臓が機能していないことを伝えるには？

- 医師、歯科医師、その他の医療従事者に、脾臓が機能していないことを必ず伝えてください。
- 緊急時に備え、医療警告の標章（ブレスレットまたはネックレス等）を身に着けてください。
- 脾臓が機能していない方の発熱時対応を医療従事者向けに記載したウォレットカードの携帯を検討してください。

作成者：S. Ashley Speckhart, MD, MPH, Maine Children's Cancer Program; Teresa Sweeney, RN, MSN, CPNP, St. Jude Children's Research Hospital, Memphis, TN; Wendy Landier, PhD, CPNP, Children's Hospital of Alabama, Birmingham,AL.
レビュアー：Kayla L. Foster, MD, MPH; Melissa Acquazzino, MD, MS.
翻訳者：Toshihiro Matsui, MD; Miho Kato, MD, DrPH; Kimikazu Matsumoto, MD, PhD. 本業務を行うにあたり、厚生労働科学研究費補助金 26EA0301、MEXT 科研費 JP25K19250 の支援を受けました。

小児がん経験者のためのその他の健康情報は、下記からご覧いただけます
www.survivorshipguidelines.org

注：このヘルスリンクシリーズを通して、「小児がん」という用語は小児期、思春期、若年期に発生する可能性のある小児がんを指しています。ヘルスリンクは、小児がんが小児期、思春期、若年期のいずれの時期に発生したかに関わらず、小児がん経験者に健康に関する情報を提供することを目的としています。

免責事項および所有権に関する通知

晩期合併症のガイドラインとヘルスリンクの紹介：小児がん、思春期がん、および若年成人がんの経験者のための長期フォローアップガイドラインおよび、それに付随するヘルスリンクは、米国Children's Oncology Groupの晩期合併症委員会と看護部門により共同で作成され、Children's Oncology Groupの長期フォローアップガイドラインコア委員会とその関連タスクフォースによって質の担保および更新が行われています。

がん患者さん（小児の場合は代諾者の方）へ：病状に関するご質問は、医師またはその他の医療従事者の助言を求め、本情報コンテンツに依存しないでください。Children's Oncology Groupは研究機関であり、個別の医療や治療を提供するものではありません。

医師およびその他医療従事者の方へ：この情報コンテンツは、あなた個人の臨床判断や医学的助言に取って代わるものではなく、またこれにより小児がん治療の特定の合併症に対するスクリーニング、健康相談、介入における既存の基準に優先するものではありません。また同様に本情報コンテンツは、他の合理的なフォローアップ方法の代替案に優先するものでもありません。本コンテンツは、小児がん経験者の医学的評価における唯一の指針として提供されるものではありません。Children's Oncology Groupは、患者のケアにおける特異的な判断は、患者、家族、および医療従事者が行うものと考えています。

なお、本情報コンテンツ、Children's Oncology Group、並びにChildren's Oncology Groupの関係者や会員は、特定の検査、製品、または処置を推奨していません。

内容の正確性や完全性について：Children's Oncology Groupは、情報コンテンツが公開日現在において正確かつ完全であることを保証するためにあらゆる努力を払っていますが、かかる情報コンテンツの正確性、信頼性、完全性、関連性、または適時性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証または表明も行いません。

Children's Oncology Groupおよび関係者の免責/Children's Oncology Groupおよび関係者に対する補償および免責の同意：Children's Oncology Group、またはその関係者や会員は、情報コンテンツの使用、レビュー、またはアクセスに起因する損害について、いかなる責任も負いません。利用者は、以下の補償条件に同意するものとします：(i)「免責　される当事者」には、情報コンテンツの著者および作成協力者、Children's Oncology Groupおよび関連組織のすべての役員、取締役、代表者、従業員、代理人、および会員が含まれます；(ii)利用者は、情報コンテンツを使用、確認、またはアクセスすることにより、情報コンテンツの使用、確認、またはアクセスに関連または起因するあらゆる請求、訴訟原因、訴訟、手続き、または要求から生じるあらゆる損失、責任、または損害（弁護士報酬および費用を含む）について、利用者の費用負担で免責当事者を補償、防御、および免責することに同意するものとします。

所有権：本情報コンテンツは、米国および世界各国の著作権法およびその他の知的所有権法に基づく保護の対象となります。Children's Oncology Groupは、情報コンテンツに対する著作権およびその他の権利、権原、および利権を保持し、法律の下で利用可能なすべての知的財産権を主張します。利用者は、後日、同意書や法的文書に署名し、情報コンテンツの普及や複製を制限するなどの追加的な行動を取ることで、Children's Oncology Groupの利益のために、Children's Oncology Groupがすべての著作権および知的財産権を確保できるよう支援することに同意するものとします。

Copyright 2023 © Children's Oncology Group. All rights reserved worldwide.

脾臓が機能していない患者さんのためのウォレットカード

✂ 外枠に沿って切り取り、中央の横線で折って携帯してください。

患者氏名：_____

担当医氏名：_____

担当医電話：_____

医療警告（MEDICAL ALERT）

無脾症患者(Asplenic Patient)

←ここで折る

医療警告：無脾症患者

この患者は無脾症であり、致死的となり得る劇症感染症のリスクがあります。38.3℃以上の発熱、またはその他の重篤な疾患徴候がある場合は、直ちに診療が必要です。推奨される対応：

1. 身体診察、全血球計算（CBC）、血液培養を行う。
2. 血液培養の結果を待つ間、長時間作用型の広域スペクトラム注射用抗菌薬（例：セフトリアキソン）を投与し、厳重に臨床経過を観察する。
3. 著明な白血球増多、好中球減少、平常時の CBC 値からの大きな変化、重篤感のある全身状態、40℃（104°F）以上の発熱、髄膜炎、肺炎、その他の重篤な感染巣、敗血症性ショックの徴候、または重篤な感染症の既往がある場合は、入院および抗菌薬の抗菌スペクトラム拡大（例：バンコマイシン追加）が必要となることがある。

Copyright 2023 © Children's Oncology Group. All rights reserved worldwide.